

凡 例

1. この統計書は、県の各部局等及び関係官公署、団体等から集めた資料によって、編集したものである。
2. 本書は、原則として平成4年（暦年・年度）の事実により集録し、これにより難しいものは、最近年次の調査事実をとり入れた。
3. 数字の単位未満は、原則として四捨五入した。したがって、総計と内訳の数の計が一致しない場合もある。
4. 統計表の説明は頭注に、資料の出所は脚注にかかげた。
5. 特に注記しない限り年は暦年、年度は会計年度を示す。
6. 本表にかかげた数字のうち、これまでに発表した数字と異なるものがあるときは、その後修正したためである。
7. 統計表の市、郡、町、村は、原則として調査時の区域によった。また、その名称については平成5年4月1日現在のものとした。
8. 統計表中の符号の用法は、次のとおりである。

0 単位未満（四捨五入後）

— 該当数字なし

… 不詳・資料なし

△ マイナス

× 統計法第14条による秘匿扱い